

## 創世記1章

はじめに神が天と地を創造された。

(創世記1:1)

この章から、以下のことを学びましょう。(1) 愛に満ちた全知全能の神は、すべての被造物を完璧に創造し、人間を被造物の冠とされました。(2) 人間には、神との交流を楽しむ能力が与えられました。(3) また、エデンの園を管理せよとの命令が与えられました。(4) 神と対話できるのは人間だけであることを覚え、神に感謝しようではありませんか。

本書のヘブル名は、「ベレシート(初めに)」です。日本語名の「創世記」は、七十人訳が採用した「Geneseos(経緯)」を基にしたものですが、本書の内容を表すことばとしては、「ベレシート(初めに)」の方が優れています。著者・編集者は、モーセです。彼は、それまでに存在していた11種類の文書(口伝情報や文書化された情報)をまとめ、編集

しています。

創世記1章には、宇宙の始まり、地球の始まり、いのちの始まり、人間の始まりなど、あらゆる「始まり」が記録されています。「はじめに神が天と地を創造された」とあります。「はじめに(ベレシート)」は、宇宙の始まりを表しています。「創造した(バラ)」という動詞は、神だけに適用されるものです。無からの創造でも、有からの創造でも、神の御業に関しては「バラ」という動詞が使われます。ここでの「バラ」は、無からの創造を表わしています。「神(エロヒム)」ということばは複数形で、神が「三位一体の神」であることを暗示しています。「天(ハシヤマイム)」もまた複数形です。神は、第1の天(鳥が飛ぶ空間)と第2の天(宇宙空間)を、また人類が住むための「地(ハアレツ)」を、創造されました。創世記1章1節は、あらゆる誤った世界観や人生観を論破する力を持っています。神を「はじめに」置く人は、知恵ある人、幸いな人です。

カオス(混沌)から秩序へ

1節では創造された天と地は完璧なものでした

が、2節になると被造世界が突如カオス（混沌）状態に陥っています。何が起こったのでしょうか。ヘブル語の「トーフー・ワ・ボーフー」（カオスを表すことば）をどう理解するかで、解釈が決まってきます。「トーフー・ワ・ボーフー」は、この箇所以外にイザヤ書34章11節とエレミヤ書4章23節に出きます。両方とも、文脈は「神の裁き」です。つまり、カオスの出現は、サタンの墮落に対する神の裁きの結果だということです。ところが、2節後半になると、「神の霊がその水の面を動いていた」という希望のことばが登場します。神は、被造世界の再生に取り組まれます。

「光、あれ」（3節）。このことばから、創造の6日間が始ります。第1日目は光の創造。第2日目は天と地の創造。第3日目は陸と海の創造。第4日目は太陽と月、星の創造。第5日目は海の生き物と空の鳥の創造。第6日目は動物と人類の創造。それぞれの被造物は、同じステップを経て創造されました。しかし、第6日目になると、神は、「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう」と言われました。「人」はヘブル語で「アダム」です。

ここでは「アダム」が普通名詞として使われています。人間の創造は、6日間の創造のわざのクライマックスとなりました。

### 神と人類の最初の契約「エデン契約」

神は人をご自身のかたちとして創造されました。「神のかたち」を外面的に見ると、ことばを使用する、顔に表情がある、恥を感じるができる、自然界を支配する能力がある、などの特徴を挙げることができます。内面的に見ると、知性、感情、意思、そして霊性、などの特徴を挙げることができます。

神はアダムと最初の契約を結ばれます。それがエデン契約です。この契約には、7つの条項がありますが、ここでは4つ出てきます。（1）地に増え広がれという命令。（2）地を管理せよという命令。（3）生物界を管理せよという命令。（4）食物が与えられるという約束。将来的には、アダムはこの契約を破ることになります。

### 創造を終えて

1章の最後に、神の評価が下ります。「非常に良

かった」。この評価は第6日目だけにあるもので、この日がいかに特別な日であったかがわかります。神は人間に、地とそこに住むものを支配・管理する特権をお与えになりました。この特権は、墮落前のサタンに与えられていたものですが、今やそれが人間に与えられたのです。

人間は、被造物の冠です。神を「はじめに」置く人は、なんと幸いな人でしょうか。

## 創世記 2 章

神である主は、その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。(創世記 2・7)

この章から、以下のことを学びましょう。(1) 人は、肉体(外面)と魂(内面)から成っています。肉体は、「大地のちり」から造られました。魂は、「いのちの息」を吹き込まれて生き始めました。(2) 女は、アダムのあばら骨から造られました。(3) エデン契約に基づいて、アダムに「善悪の知識の木からは、食べてはならない」という命令が与えられました。(4) この命令は、アダムに祝福を与えるためのものでした。神の命令に従うことの祝福を覚えようではありませんか。

## 第7日目

神は、7日目にすべてのわざを休まれました。「休まれた」という動詞は、ヘブル語では「シャバット」です。安息日は「シャバット」ですが、ここでの「シャ